

雙葉の窓から～世界を旅する～ No.20 オーストラリア

本校の教員 W 先生は、学生時代オーストラリアに留学し、ホームステイしながら小学校でインターンシップという形で働いていました。W 先生に現地の小学校生活を紹介してもらいます。

～オーストラリア・メルボルンの小学生の1日～

平日は 7:00 時ごろに起床します。

小学生・中学生がいるお家は、お母さんがよくお弁当を作ります。こちらのお弁当は、サンドイッチがメイン！

そのため、お弁当箱は、サンドイッチとおやつフルーツやシリアルバーなどが入る長方形の大きい形をしています。

学校は 9:00 から始まり 15:00 に終わるところがほとんどです。メルボルンの小学校と日本の小学校を比べると、違うところがたくさんあります。

どのようなところが違うのでしょうか？

メルボルンの小学校の生活に当てはまると思うものに○をつけてみてね。

- 1、登下校はお母さんやお父さんが車で送ってくれる。
- 2、学校によってはコアラを飼育している。
- 3、小学校 1 年生～6 年生の生徒だけでなく、1 年生の 1 つ下の学年の生徒もいる。
- 4、プールでの授業はない。
- 5、入学後すぐに自分たちの国の言葉以外の言葉を学ぶ授業が始まる。

正解は、、、 1、3、5、です！

1



安全上の理由から、車での送り迎えをしているお家が多いです。

2



オーストラリアというとコアラが有名ですが、身近で見られるわけではありません。

コアラよりも、**カンガルー**や**オポッサム**（右上の絵）の方が身近にいる動物です。**カンガルー**は突然茂みから道路に出てくることも多く、また、体も大きいのでよく車と衝突してしまうそうです。

野生の**オポッサム**もよく見ることができそうで、木々のある庭のあるお家では、その木に住み着いていたりすることもあるそうです。ちなみにニュージーランドでも**オポッサム**は身近な動物で、**オポッサム**の毛で作られたセーターなども売られています。

3



オーストラリアの小学校では、“prep”と呼ばれる1年生の1つ下の学年があります。“prep”というのは、小学校に本格的に入る準備のための学年です。

4



日本と同様、プールでの授業がある学校もあります。ただし、オーストラリアは地球の南半球にあり、日本とは季節が逆になっています。そのため、日本の冬に当たる、12月頃から2月頃がオーストラリアの夏になります。この時期にプールでの授業があります。

5



Prep の時から、自分たちの国の言葉（英語）以外の言葉を学びます。日本の小学校でも、小3から英語の授業が始まりますが、オーストラリアでは低学年から英語以外の言葉を学びます。一つの小学校でどの言葉を学ぶかは違っており、日本語を教えている小学校もあります。

学校から帰った後は、18:00頃まで地域のスポーツクラブなどの練習に参加します。習い事のようなものですね。人気なスポーツは、バスケットボールやネットボール（バスケットボールに似ていますが、ボールを床につけてはいけないスポーツです。）、新体操などがあります。

夕食を食べた後、家族団らんの時間を持ち、21:00～22:00頃就寝です。



オーストラリアの自然には圧倒されたよ！
オーストラリアにはたくさんの自然遺産があるので、皆も調べてみてね！